

元気な長岡プロデュース事業 〈研究編〉

第4回討論会

2012年度 社団法人 長岡青年会議所
農と地域活性化委員会

前回討論会の内容

■ 討論会

- 農業を通じた地域の活性化について
「農業の魅力と可能性×私のできること×長岡の魅力」
- 全体発表

第3回討論会の結果について

農業を通じた地域活性化のアイデア7分類

儲かる

食べる

伝える

感じる

繋がる

学ぶ

遊ぶ

農業を通じた地域活性化の方向性について

A 班

カテゴリー	活性化案
学ぶ・感じる・伝える	首都圏から小中学生を呼ぶ農業体験
稼ぐ・食べる・伝える	食べ物だけでなく農業ならではのサービスの提供
稼ぐ・食べる	長岡の農産物を地元の料理店で使う(地産地消)
稼ぐ・伝える	首都圏に長岡のアンテナショップ
食べる・伝える・繋がる	おにぎり選手権のようなイベント
伝える・繋がる	合併した旧11市町村のそれぞれの特産が分かるマップ
感じる・繋がる	会員制の農業体験クラブ。(田畑で働く→収穫した農産物を得る。)
稼ぐ・伝える	全国のコンビニやファミレスで売れる商品の開発
伝える・感じる・繋がる	山古志などの古民家をシェアハウス。みんなで農村生活
稼ぐ・繋がる	農家×飲食店の商談イベント
伝える・稼ぐ	昔ながらのコシヒカリを長岡のブランドに。

農業を通じた地域活性化の方向性について

B 班

カテゴリー

活性化案

稼ぐ・感じる

雪下野菜のブランド化。生産だけではなく、収穫体験も。

繋がる

雪かき・雪下ろしをスポーツ選手のトレーニングに。

遊ぶ

農業と観光のテーマパーク

感じる

田舎ではないなりの農業体験

伝える

原始的な農作業風景を放送し、都会の人がバーチャル体験

感じる

手軽な農業体験日帰りコースの設置

繋がる

農地オーナー制度

感じる

気軽な農業体験（アオーレで野菜のプランター栽培）

学ぶ

農業の必修化（高学年）

繋がる

「自分が食べるものは自分で作る」まち＝農業に真剣なまち

遊ぶ

「雪上サッカー」「泥んこサッカー」大会の開催

食べる・伝える

地域食材を使ったラーメンの開発

対外的

対内的

対外的
対内的

農業を通じた地域活性化の方向性について

C 班

カテゴリー	活性化案
伝える・食べる	長岡でキャラ弁大会を開催(花火、五十六などテーマ設定)
遊ぶ	耕作地の有効利用(まつりの開催)
感じる	農業体験を実施(田植え、稲刈り、加工、販売まで一貫して)
伝える	長岡のPR小誌を作成
伝える・食べる	長岡産野菜のブランド化 1、もっとメディア等を利用して長岡野菜をPRする。 2、長岡で採れた野菜は長岡市内のみで消費する。 (長岡に来なければ、食べれないという仕組み作り) 3、特に秀でた物に限定してブランド化

農業を通じた地域活性化の方向性について

D 班

カテゴリー

活性化案

繋がる	長岡の工業を活かした農業機械の開発
学ぶ	空き農地を生かし、子供を対象とした農・食 に関する教育の実施
繋がる	長岡野菜のオーナー制度
稼ぐ	土地を貸す(期間限定)
繋がる	観光としての地産地消
繋がる・感じる	消費者と生産者が会う場づくり (食のイベントの継続的な開催、アオーレ長岡で農園体験)
繋がる	地元飲食店と農業者との連携(グリーンバンドの販売と特典の付与)
伝える	「米百俵」や「火焰土器」などを生かした取り組み
学ぶ・伝える	「新潟＝米」などのイメージを子供に教えることで農業を伝える
繋がる	地域社会をまとめる力を生かした高福祉の実現

討論の全体像

◆ 活性化した長岡の姿を考えよう！（4月12日実施）



◆ 農業を通じた地域活性化の方向性を考えよう
（5月8日実施）

◆ 今年度に取り組む地域活性化の方向性を決めよう（5月27日実施）

◆ 具体的な地域活性化策を考えよう
（6月12日実施）

◆ 長岡の農業の現状を知ろう！（勉強会・4月21日実施）

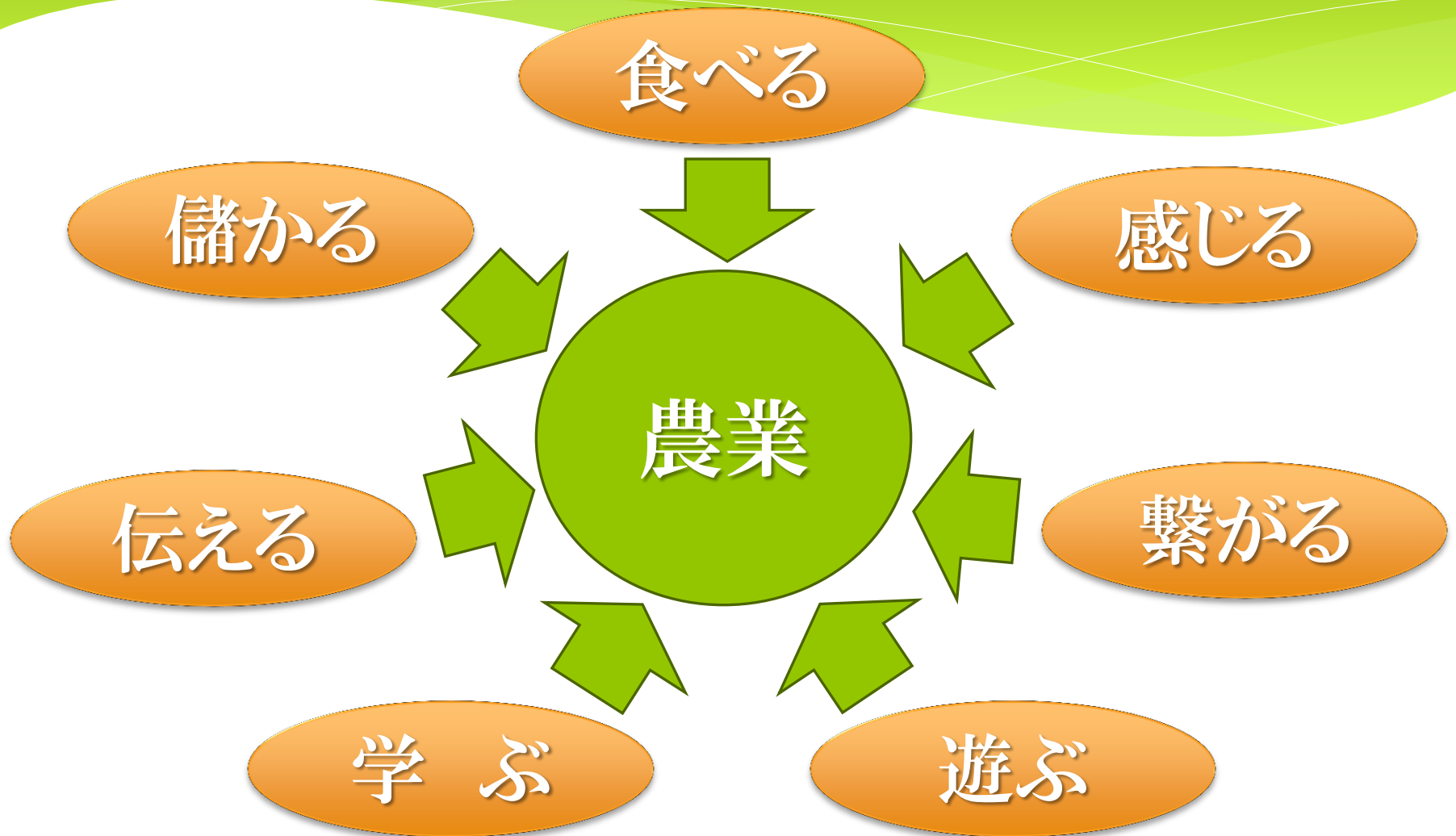
討論会の結果・・・

地域活性化に向けての7つの分野
について、多くの活性化策が提案される



多くの意見を活かし、多方面から農業に対して、
働きかけるのが効果的ではないか？

多方面からの活性化策

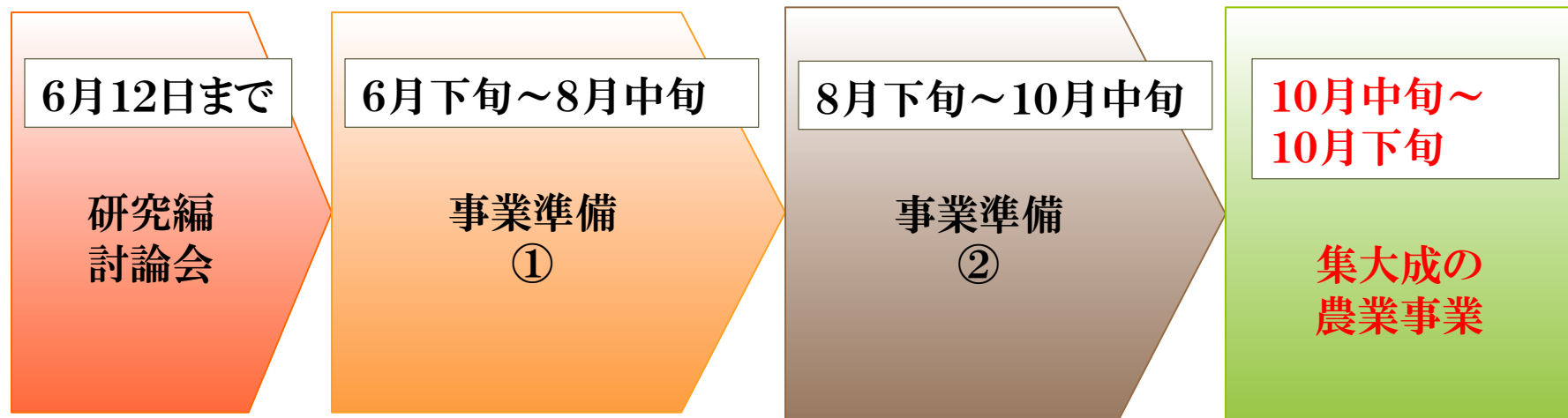


よりよい事業構築に向けて

各分野より、より多くの要素を取り入れて
事業を行おう！

複数事業の開催・取り組み
様々な地域活性化策の融合

今後の事業の流れ(予定)



- ◆第4回討論会
- ◆第5回討論会
- ◆農業見学会

※各分野ごとのチームに分かれて行動。各種イベントへの参加。

※各分野ごとのチームに分かれて行動。10月集大成イベントへの本格準備。

7つの取り組み
“表現”の場

第4回討論会について

本日のゴール

今年実施する地域活性化策
をあげる

本日の内容

■ 討論会

- 農業を通じた地域の活性化について

7つの分野(遊ぶ・儲ける・感じる・学ぶ・食べる・繋がる・伝える)毎に
1つの地域活性化策を決める

- 全体発表

討論を行うにあたって

地域の活性化について

農業の活性化は
地域の活性化に繋がる！

農業の活性化が 地域の活性化に繋がる3つの理由

理由その1

「食」の面ですべての人と関わっている

農業は「食」の面ですべての人に関わり、
米に関しては、長岡は全国トップクラスの算出額
を誇り、「コシヒカリ」という強いブランドを有する



農業の活性化が 地域の活性化に繋がる3つの理由

理由その2

多面的な役割を担っている

農業は食料の供給を支えるだけでなく、
環境保全、景観やコミュニティの形成など、
多面的な役割を担っている



農業の活性化が 地域の活性化に繋がる3つの理由

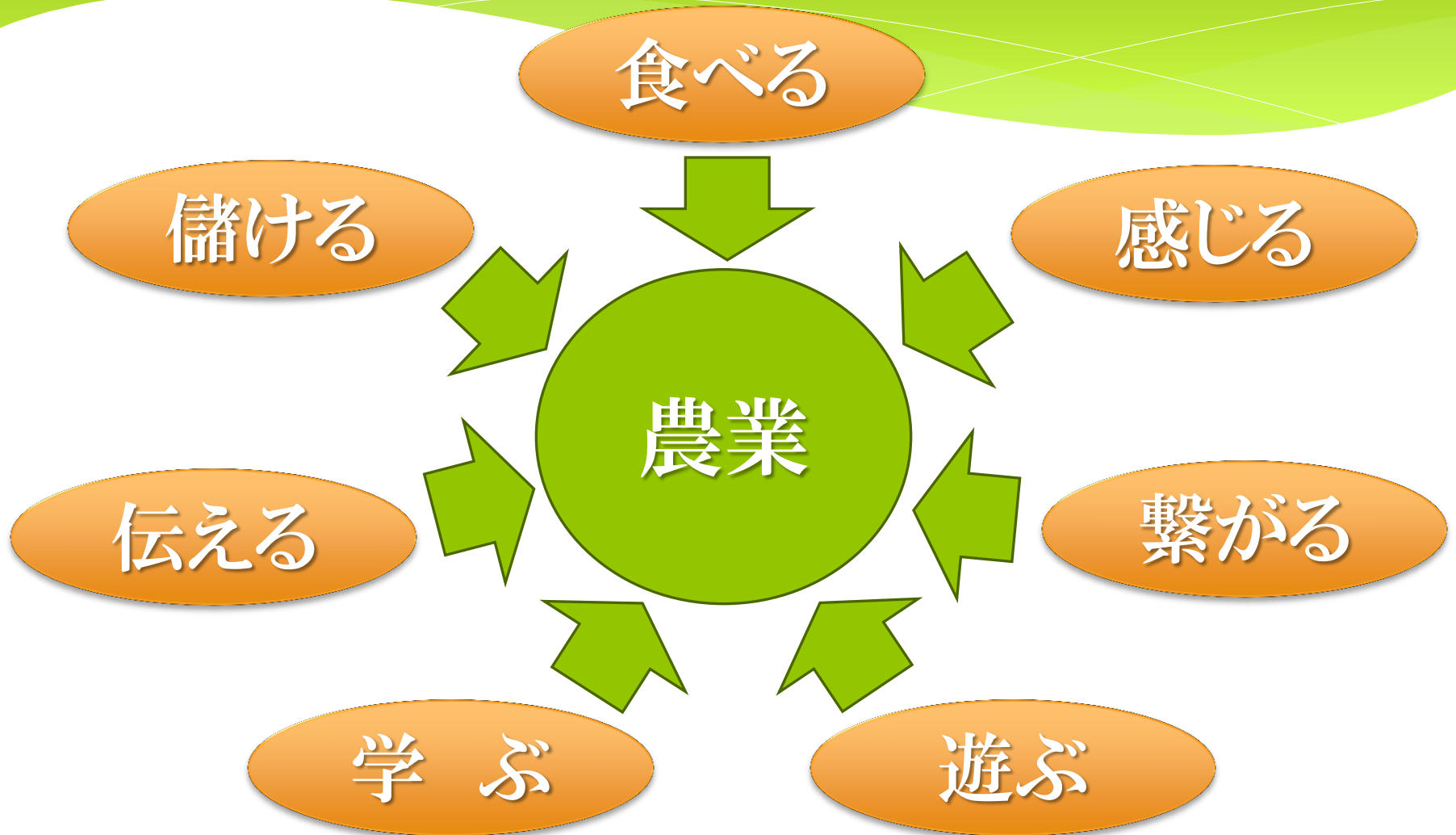
理由その3

波及効果が期待できる

農業は生産から消費者の食生活に至るまでの過程で様々な事業者と関わりがある上、長岡では農業に関わる人が多く、波及効果が期待できる



多方面からの活性化策



活性化策の目指すところ

長岡農業のサポーター育成！！



サポータ育成による効果

農業者

- やりがい増加
- 生産性の向上
- 規模が大きくなる
- 農業機械が気軽に買える
- ベンツに乗る
- 嫁が来る
- 農業人口が増える

市民・他産業

- 地場産を買う
- 食への関心が増す
- 自然を大切にする
- 農村文化に理解が深まる
- 地元への興味がわく
- 他人に伝えたいくなる
- 自分の仕事に取り入れようとする

他地域の人々

- 観光に訪れる
- 買い物に来る
- 取り寄せる
- 口コミ効果が発生
- Uターン・Iターンが増える

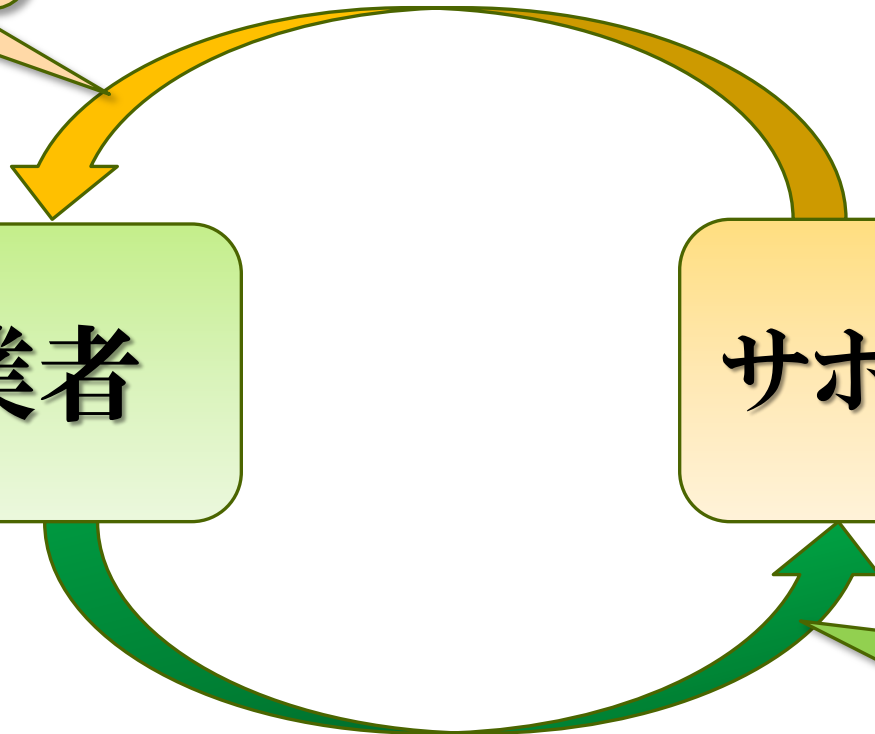
幸福感・経済効果の相互作用

農業への理解
経済活動

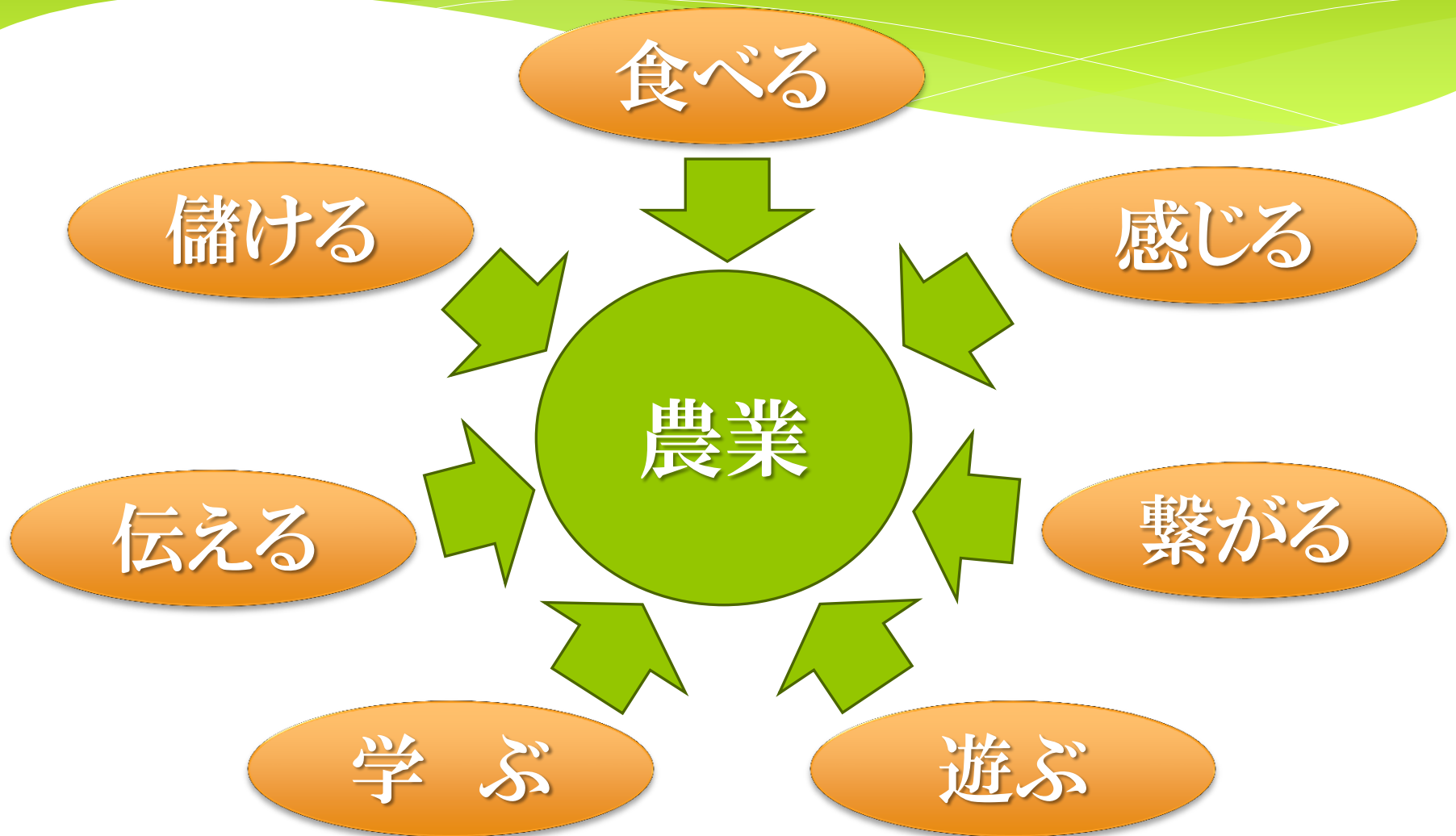
農業者

サポーター

安全で美味しい
農産物の供給
＝ 幸福感



多方面からの活性化策



7つのカテゴリーについて

カテゴリー	カテゴリーの特徴
儲かる	農工商連携。お得に買える。産業の確立。
学ぶ	知識を得る。興味を持つ。
感じる	体で知る。癒しを感じる。自然を感じる。
繋がる	新たなコミュニティの形成。現存のコミュニティの維持。
食べる	おいしさの共有。地元の食材を食べる。
伝える	発信する。多くの人に知ってもらう。
遊ぶ	観光。収穫体験。生物に触れる。実験してみる。

次回開催について

日時 6月12日(火) 19:00~21:00

場所 まちなかキャンパス301号室

次回の内容

■ 討論会

- テーマ

具体的な地域活性化策について考えよう

■ 交流会

- PRタイム